てくてく奈良-④まっぷ

家老屋敷　江戸時代末期、柳生１万石の家老であった小山田主鈴の旧邸。現在は資料館として公開中。邸内は鴨居、屏風、間どりなど武家屋敷の様式をそのまま伝え、柳生藩士の生活やテレビ「春の坂道」のロケ風景などを紹介。

柳生花しょうぶ園　１万㎡の扉形の斜面は紫・白・黄など、色や紋様とりどりの花しょうぶで埋まる。開園＝６月上旬～下旬。
開花お問合せ＝☎(0742)94-0858

柳生陣屋跡　柳生新陰流を生み出した石舟斎の子、宗矩が築き、明治の廃藩で消失。一帯は桜を中心とした花の公園となり、絶好の休憩地に。

芳徳寺　柳生家の菩提寺。境内からは柳生の里一望。本堂には宗矩、沢庵・列堂和尚の木像が祀られ、隣接の史料室では柳生藩の資料を展示。寺の裏には石舟斎以下柳生一族が眠る墓地も。正木坂道場も剣の里らしいたたずまい。

●バス近鉄奈良駅から柳生まで約50分
※バス便が少ないため要確認
●バス時刻のお問い合わせ
奈良交通お客様サービスセンター
☎(0742)20-3100
●地図内の数字は、起点からの実測距離（メートル）を表わしています。

天乃石立神社　昼なお暗い谷に埋まるきんちゃく岩など４つの謎の巨岩がご神体。天の岩戸から飛んできたという伝説もうなずける迫力。石舟斎が天狗と思って切ったという一刀石も大自然の不思議をまざまざと見る思い。

ほうそう地蔵　ほうそうよけに作られたという高さ３mの石仏。元応元年(1319)の銘が認められ、借金棒引きをうたった徳政一揆の銘文も興味深い。

南明寺　なぜか気の安らぐような簡素な美しさをもつお堂。鎌倉時代に建てられた省棟造の古刹。本堂内には薬師・釈迦・阿弥陀の３如来を安置。

夜支布山口神社　こんもりした森の中にたたずむ延喜式内社。８月17日の大柳生太鼓踊りは、ここのお祭り。境内では春日造りの立磐神社本殿が美しい。

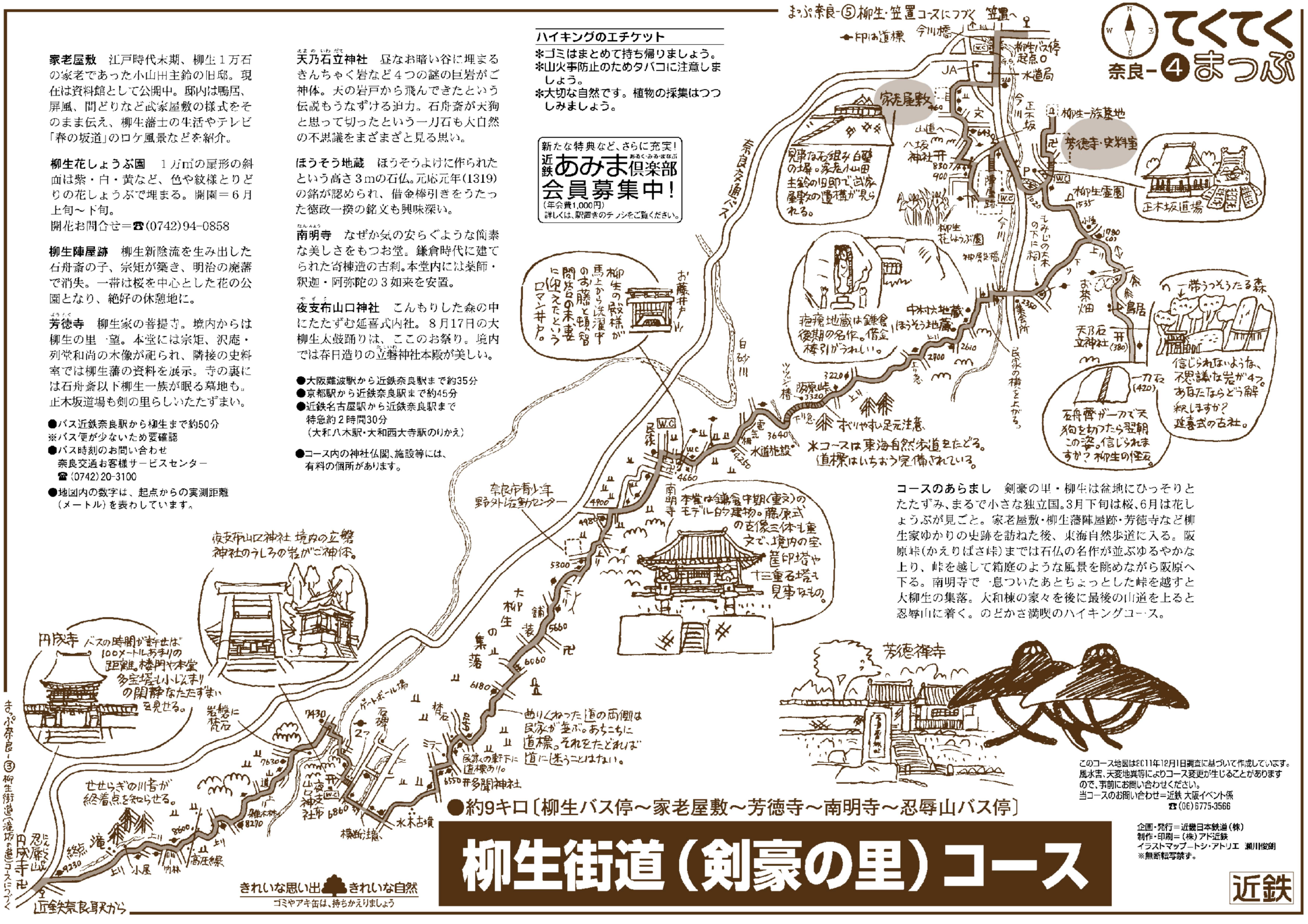
●大阪難波駅から近鉄奈良駅まで約35分
●京都駅から近鉄奈良駅まで約45分
●近鉄名古屋駅から近鉄奈良駅まで
特急約２時間30分
（大和八木駅・大和西大寺駅のりかえ）

●コース内の神社仏閣、施設等には、有料の個所があります。

ハイキングのエチケット

*ゴミはまとめて持ち帰りましょう。
*山火事防止のためタバコに注意しましょう。
*大切な自然です。植物の採集はつつしみましょう。

新たな特典など、さらに充実！
近鉄あみま倶楽部
（あみく・みま・くらぶ）
会員募集中！
（年会費1,000円）
詳しくは、駅置きのチノシをご覧ください。



コースのあらまし　剣豪の里・柳生は盆地にひっそりとたたずみ、まるで小さな独立国。３月下旬は桜、６月は花しょうぶが見ごと。家老屋敷・柳生藩陣屋跡・芳徳寺など柳生家ゆかりの史跡を訪ねた後、東海自然歩道に入る。阪原峠（かえりばさ峠）までは石仏の名作が並ぶゆるやかな上り、峠を越して箱庭のような風景を眺めながら阪原へ下る。南明寺で一息ついたあとちょっとした峠を越すと大柳生の集落。大和棟の家々を後に最後の山道を上ると忍辱山に着く。のどかさ満喫のハイキングコース。

●約9キロ〔柳生バス停～家老屋敷～芳徳寺～南明寺～忍辱山バス停〕

柳生街道（剣豪の里）コース

きれいな思い出　きれいな自然
ゴミやアキ缶は、持ちかえりましょう

このコース地図は2011年12月1日調査に基づいて作成しています。風水害、天変地異等によりコース変更が生じることがありますので、事前にお問い合わせください。
当コースのお問い合わせ＝近鉄 大阪イベント係
☎(06)6775-3566

企画・発行＝近畿日本鉄道（株）
制作・印刷＝（株）アド近鉄
イラストマップ＝トシ・アトリエ　瀬川俊朗
※無断転写禁ず。

近鉄